

テーマ

地域活性化につながる持続可能な取り組みを考案し、その実現に向けて主体的に行動できる高校生の育成

目標

様々な活動に取り組まれている地域の皆さんと繋がり、「協働的な学び」(共同制作)を通して、ふるさとへの愛着心を育むとともに地域活性化につながる持続可能な活動を考案し、その実現を目指して主体的に行動できる人材を育成する。これらの活動を通して、若年層の地域への定着や将来のUターンへの契機になることを目指す。

育成したい
資質・能力

ふるさとへの
愛着心と誇り

思考力、判断力、表現力
コミュニケーション能力

学びに向かう
主体性と協働性

リーダーシップ

外部連携
機関
(行政機関・
事業所)

- 西海市
- 西海市教育委員会
- 西海市内の企業

連携

協働

長崎県立西彼杵高等学校(普通科1・2・3年、生徒数99名)

ふるさと教育のプロジェクト会議

各分掌主任、各学年主任、総合的な探究の時間の各学年担当者

[委員長] 学校長、[副委員長] 教頭
キャリアアドバイザー(外部委員)

<主な取組>

【1】研究課題の設定

生徒は、3つのグループに分かれ活動する。食・地域ブランドをテーマに、地元で活躍されている企業・団体の方をアドバイザーとして、地域活性化を目指す取り組みを考案し、協働活動行う。

【2】研究成果の発表

- (1) 文化祭で3年生と協力し、商品の販売を行う。(令和7年10月予定)
- (2) 地域のカフェスペースを借り、1日カフェを企画し、地域の方に商品を販売する(令和8年3月予定)

【3】振り返り・評価

1日カフェ終了後、アンケート調査で振り返り及び評価を行う。

成果指標

- | | |
|---|--------|
| (1) 将来ふるさとの発展に貢献したいという意識が高まったと感じる生徒の割合 | 50%の向上 |
| (2) 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力が以前より向上したと感じる生徒の割合 | 50%の向上 |
| (3) 学びに向かう主体性と協働性やリーダーシップが向上したと感じる生徒の割合 | 50%の向上 |

連携

協働

外部連携
機関
(専門機関)

- 長崎歴史文化博物館

地域社会(保護者を含む住民、産業、文化、歴史等)